

第5期雄武町総合計画後期基本計画 施策評価調書（兼政策評価基礎調書）

政策目標	4	うるおい・雄武		整理番号	67
基本施策	19	消防・救急・防災体制の強化	評 価 責 任 者	住民生活課長	淡路至尊
単位施策	1	災害予防対策・危機管理対策の強化		建設水道課長	渡邊孝司

1 施策の概要

基本方針	東日本大震災の教訓を踏まえて地域防災計画の改定を進めるとともに、町民・行政職員の防災・危機管理意識を高め、知識・技術を普及します。治山・治水、耐震改修など必要な予防対策事業を進めるとともに、地区や事業所での自主防災組織の育成を急ぎ、災害時要援護者一人ひとりへの個別支援の体制づくりを進めます。				
現状と課題	【現状】（平成23年度末）	【現状】（平成26年度末）			
	津波を想定した避難訓練を実施し、危機管理意識の高揚を図るとともに、道路・河川の被災箇所については、早急な復旧と二次災害の予防に努めている。	全町を対象とし、年度ごとに区域を決め、23年度より実施していた津波災害を想定した非難訓練を今年度で一通り終了した。ハザードマップを更新した。河岸の損壊等を早急に復旧し、河川災害の未然防止に努めている。			
	【課題】（平成23年度末）	【課題】（平成26年度末）			
	ひとり暮らしの高齢者や障害者などの災害時要援護者の避難体制を確立するための、自主防災組織の構築が求められている。	災害時要支援者の避難体制を確立する自主防災組織の取り組みが遅れている。北海道における河川事業の早期完成と天然河川の改修が求められている。			

2 基本施策指標

指標1	指標名	防災活動の実践度（5項目平均）					
	定義等	まちづくりアンケート（備品の準備、家具転倒防止対策、家族との連絡方法確認、防災訓練参加、避難場所の確認）					
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						40%
実績値		29.0%					
指標2	指標名	自主防災組織数					
	定義等	組織数 ※防災活動に取り組んでいる自治会も含む					
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						29組織
実績値		1組織	2組織	2組織	3組織		
指標3	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
実績値							
指標4	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
実績値							
指標5	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
実績値							
指標6	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
実績値							
指標7	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
実績値							

3 単位施策を構成する事務事業の評価結果等

【貢献度の区分 A：高い B：やや高い C：やや低い D：低い E：なし】

No.	事務事業名	担当係名	26年度 決算額 (千円)	総合評価	今後の 展開方向	単位施策 への貢献 度
①	地域ぐるみ防災推進事業	住民活動係	5,008	B	継続/現状維持	A
②	雄武町地域防災計画更新事業	住民活動係	0	C	継続/内容の見直し・変更	A
③	防災行政無線設備等保守点検委託事業	住民活動係	2,484	A	継続/現状維持	A
④	民有林火災予防巡視事業	林務係	600	A	継続/現状維持	A
⑤	町内河川小工事事業	土木管理係	1,999	A	継続/現状維持	A
⑥	オタコムシュベツ川改修事業	土木管理係	5,832	A	継続/現状維持	A
⑦	雄武町都市対策事業	都市計画係	68,592	A	継続/現状維持	A
⑧	【再掲】消防団活性化事業	消防庶務係	3,325	A	継続/現状維持	A
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						
⑬						
⑭						
⑮						

4 施策の個別評価【A：評価が高い B：やや高い C：やや低い D：低い】

評価の視点	評価結果	理由、説明等
① 妥当性	A	河川災害や林野火災といった防災対策や津波災害等の大災害から町民の生命と財産を守るのは行政の使命である。
② 有効性	A	町民や行政職員等の防災・危機管理意識を高め、防災体制の強化を図ることは必要である。
③ 効率性	A	町民とともに津波災害を想定した避難訓練を効率的に実施した。
④ 公平性	A	全ての町民の生命と財産を守るための施策である。
⑤ 町民意見の反映	A	特に町民の意見を聞く場を設けてはいないが、意見等があれば検討し、反映させることが可能であれば取り入れている。

5 総合評価【A～D】

A：政策目標の達成に効果的であり、現在の施策を継続することが必要 等

B：政策目標の達成に効果的であるが、具体的な課題の解決に向けて一部取組を改善するなど、施策を充実することが必要 等

C：政策目標がほぼ達成されていることから、施策が一定の役割を終えつつあり、終期を見据えて縮減することが必要 等

D：(1)政策目標の達成に効果的であるが、事業構成が十分ではなく、新たな事業構築など取組を全体的に見直すことが必要 等

(2)政策目標の達成に向けた効果が認められないことから、施策の廃止も含めて抜本的に見直すことが必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
B	B	
地域防災計画及び自主防災組織の立上げなどが遅れてはいるが、避難訓練の実施やハザードマップの更新により防災意識の高揚につなげている。また、河川の一部氾濫への対応、異常気象情報野収集に努めたところである。	同 左	

今後の方向性



継続/内容の見直し・変更	継続/内容の見直し・変更	
地域防災計画の策定は急務であり、策定方法の見直しも含め検討する必要がある。また、若手行政職員の災害対策の対応力の向上を図る必要がある。	同 左	

*今後の方向性の区分

○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○終了 ○休止 ○廃止